

# 「コンサルタント」の目

## 食料需給と自給率

### 世界の食料需給

世界の食料需給の需要面については、人口増加が大きな拡大要因であり、現在の世界の人口は65億人といわれ、国連の人口推計では2050年には91億人に達すると予想される。

その95%以上が開発途上国で起きていて、アジア及びアフリカ地域の増加が著しい。

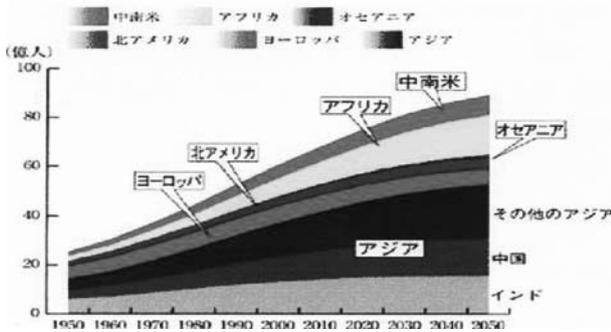
それに伴い開発途上国においては、所得水準の上昇等に伴い、飼料用を含む穀物の需要が大幅に増加する可能性もある。特に世界の人口の約2割を占める中国の動向が注目される。

一方、供給面についてみると、これまで拡大していた収穫面積が減少傾向にあり、これまで世界の食料供給を支えてきた品種改良、化学肥料の投入、灌漑施設整備、遺伝子組み換え技術の導入等による、単収の伸びに鈍化がみられ、1人当たりの穀物生産量は減少傾向にある。

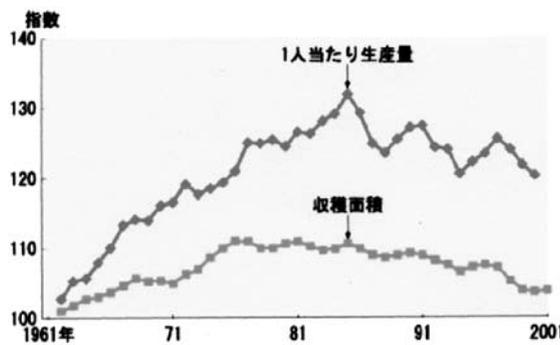
今後とも単収が維持されるかどうか不明であり、水資源の枯渇、農業生産活動に起因する土壌劣化（砂漠化）の進行、さらに、異常気象による干ばつや洪水の発生、バイオエネルギー問題も供給の不安

要因として懸念されている。

世界の人口推移



世界の穀物生産量他推移

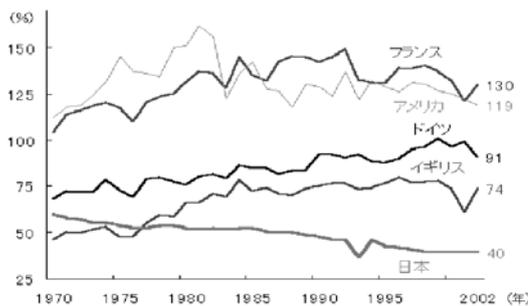


### 世界の食料自給率

食料需給問題が世界規模で深刻化する中、日本の食料自給率は年々下がり続け、主要先進国の中では最低水準にある。

世界178の国・地域の穀物自給率2001年を試算すると、日本の28%は130番目！

世界の食料自給率の推移



先進国の集まりであるOECDの加盟国の中では、30か国中28番目！

日本と同じ島国であるイギリスの食料自給率が向上している。かつては日本よりも低かったが今では大きく上回る。

単純比較はできないが『食料は国内生産が重要』といった認識、食生活に著しい変化がない、小麦

## 都道府県別農業生産額

順位	県名	生産額	比率	備考
		億円	%	
1	北海道	9,809	11.6	
2	千葉県	4,119	4.9	
3	茨城県	4,082	4.8	
4	鹿児島県	4,053	4.8	
5	愛知県	3,154	3.7	
1-5	1-5計	25,217	29.9	
全国	全国合計	84,449	100.0	

「食料自給表」等を基に農水省試算

## 都道府県別食料自給率

都道府県名	カロリーベース			生産額ベース	
	18年度 (確定値)	19年度 (概算値) (A)	全国 順位	18年度 (確定値)	18年度 (概算値) (B)
	北海道	195	198	1	187
千葉県	29	29	31	73	71
茨城県	71	70	12	123	123
鹿児島県	83	84	11	225	224
愛知県	13	13	42	35	34
全国	39	40		68	66

「食料自給表」等を基に農水省試算

の増産による穀物自給率100%の達成等の徹底が考えられる。  
現在40%の食料自給率を平成25年に45%にする目標の達成を目指すには、消費・生産の両面にわたり、国のみならず消費者、食品産業界者及び農業者、さらには地方公共団体を含めた関係者全体で努力することが重要である。

### 都道府県別の農業生産と食料自給率

国内の都道府県別の食料生産の生産額では北海道は断トツにトップ、我が千葉県は2番目の生産県である。次いで茨城県、鹿児島県の順で、茨城、千葉、鹿児島は絶えず2, 3, 4番目を争っている。生産額と食料自給率(カロリーベース)の関係では、生産額上位の道県の中で、自給率では北海道(自給率198)以外は100%を切っている。  
特に首都圏の千葉県の29%(全国31番目)、工業県の愛知県の13%(全国42番目)は、生産額ではトップクラスにありながら自給率においては低位となっている。

### 千葉県の農業

参考までに東京都は予想にたがわず生産額(280億円)、食料自給率(1%)ともに47番目である。平成19年の食料自給率(カロリーベース)都道府県概算値を見ると100%を超えているのは9道県に過ぎない。  
生産額の増加を図り食料自給率を向上させるため、夫々の地域特性に合った対策を講ずべきである。  
千葉県は温暖な気候の中で広い大地と三方を囲む海に恵まれ、全国有数の農林水産県として発展し、首都圏への重要な食料供給基地となっている。  
生産物として都市近郊、北総台地、海匝地域、九十九里地域等広範囲にわたる露地野菜、施設野菜等多品目の大野菜産地を形成。利根川流域及び九十九里地域では米。  
南房総地域の花き栽培。  
南房総市のビワ、東葛飾地域中心のなし等の果実。  
鴨川地溝帯の嶺岡山系の酪農等県全域で、国内トップクラスの生産を行っている。  
千葉県では現在千産千消活動を

### 海匝・香取地域の食料産出額と自給率

実施中で、まずは県産品を県内で消費して県内自給率を高める。  
海匝・香取地域は日本有数の生産性を誇る優良農地を有する農業地域で県内随一の生産性(県内1番目〜3番目)を誇る。  
県内1番目は旭市で農業産出額418億円(全国9番目)、2番目が香取市で農業産出額321億円(全国15番目)、3番目が銚子市で228億円である。  
漁業に関して銚子漁港は多種多様な魚種を扱い、全国屈指の水揚量を誇り、水揚量21万8千トンで平成19年全国1番である。  
千葉県の食料自給率(カロリーベース)は29%(全国31番目)と低い海匝・香取地域は高く、銚子市は、農林水産省「地域食料自給率試算ソフト」による食料自給率が258%を示す。(平成17年度概算値)  
他市町村との食料自給率の比較をしたいが、現在市町村レベルで食料自給率を算出しているところは、残念ながらないと思われる。  
(中小企業診断士 布施光義)